

2014 年 8 月 8 日

「いのち・未来 うべ」第3回総会のご案内

会 員 各 位

いのち・未来 うべ
代表 安藤 公門

猛暑と台風、集中豪雨などが続きます。みなさま、お変わりありませんでしょうか。

さて、当会は、前身の小出裕章さんのお話を聴く会から3年、会として発足してから2年の歩みを経て、ここに第3回総会を開催する運びとなりました。

昨年は、3・8上関原発を建てさせない全県民集会実行委員会が発足しました。待望の全県レベルの旗です。そして、県内・全国に呼びかけて今年の3月には、上関原発を止める32年間の取り組みで史上初となる7000人の集会を実現しました。当会も、山陽小野田・宇部実行委員会のみなさんとともに、集会の成功のために力を尽くしてきました。

また、多くの市民のみなさんと共同で、詩人のアサービナードさん講演会、上関町祝島の人々の心を伝える『祝の島』上映会、さらに「原発をつくった私が、原発に反対する理由」という菊地洋一講演会を、それぞれ成功裡に実現することができました。さらに、度々会員が祝島へでかけ、また宇部にもきていただき、交流を深め、「私たち自身の課題」として上関原発を建てさせない取り組みを行ってきました。

原発のない社会、負の遺産を子や孫に残さぬ社会のためには、意志を声に、声を形にして地域と暮らしのなかで示すことが大切だと考えます。祝島の500万円カンパ運動は、目標の4倍、2000万円を2ヶ月足らずの間に、達成しました。この例からも、地域の取り組みはつながっており、全県全国の人々の心に響き、広がりえることを確信できます。

ときあたかも、この秋には、鹿児島県で川内原発の再稼働が、原子力規制委員会の「合格」「でも安全は審査したわけではない」という誰も責任を取らぬまま強行されようとしています。収束のめどさえ立たない福島原発事故、作業員と子どもたち・住民の被曝の拡大、中間貯蔵施設建設の強行と放射能汚染の拡散など私たちが声を挙げなければならない課題は山積しています。そして、村岡山口県知事は、県民の反対の声を無視し、数々の法律違反を犯し、公有水面埋め立て許可の判断を来年5月までさらに1年延長して、原発の新設増設の動きを待とうとしています。

このときにあたって、昨年総会以来の私たちの足跡を振り返り、つかみとった貴重な教訓を確認し、新しい若い人を迎え、次の一年間の方針を提案・討論・共有したいと考えます。

ぜひ万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

日時：9月6日（土）日）13：30～16：00

場所：宇部市シルバーふれあいセンター 第3講座室

〒755-0033 宇部市琴芝町二丁目4番25号 電話 0836-38-7000

電車…JR 琴芝駅下車 徒歩2分 琴芝駅前バス停下車 徒歩2分